

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●RSウイルス感染症が流行しています。

先週より患者数は少し減少しましたが、引き続き感染予防に努めましょう。

●これから流行傾向にある、マイコプラズマ肺炎に注意しましょう。

例年、晩秋から春にかけて流行する傾向にあります。

肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)という、細胞に寄生する極めて小さな細菌による感染症です。幼児期、学童期、青年期を中心に、年間を通じて報告があります。

◆どんな病気？

- ・症状……発熱、全身倦怠感、頭痛などの症状が出てから3～5日後に咳が始まることが多いです。初めは乾いた咳ですが、時間の経過とともに徐々に強くなって、解熱後も3～4週間と長く続きます。年長児や青年では、後期には湿った咳になることが多いと言われています。中耳炎、無菌性髄膜炎、脳炎などの合併症がみられることもあります。
- ・潜伏期間…2～3週間
- ・感染経路…患者の咳などのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、あるいは病原体が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染があります。家族間や友人間などでの濃厚接触により感染しやすいと言われています。発症前2～8日から発症後4～6週間以上にわたり気道粘液へ病原体が排出されます。
- ・流行期……一年中みられますが、晩秋から早春にかけて報告数が多くなる傾向にあります。



◆かかったらどうすればいいの？

- ・治療には、マクロライド系、テトラサイクリン系、ニューキノロン系の抗生物質を使用します。

◆予防法は？

- ・手洗い、うがいなどの一般的な予防方法をしっかり行い、患者との濃厚な接触を避けましょう。

期 間		平成29年 37週		平成29年 38週	
		9/11～9/17		9/18～9/24(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		129	8.06	97	6.06
咽頭結膜熱(プール熱)		14	0.88	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		16	1.00	14	0.88
感染性胃腸炎		44	2.75	39	2.44
水痘(みずぼうそう)		4	0.25	4	0.25
手足口病		33	2.06	21	1.31
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		7	0.44	7	0.44
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		3	0.19	12	0.75
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		3	0.19	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		19	3.80	20	4.00
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		2	0.40	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	5	1.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00